

あきしま市議会だより

No.283

令和5年(2023年)4月30日

おもな内容

- 予算審査(質疑).....1面~4面
- 代表質問.....2面~3面
- 賛否の分かれたもの.....4面
- 討論.....5面~7面
- 一般質問.....5面~8面
- 請願・陳情.....8面
- 提出案件と結果、会議の開催状況.....9面

編集：昭島市議会 議会運営委員会 発行：昭島市議会事務局 〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号 電話：042-544-4476 昭島市ホームページ <https://www.city.akishima.lg.jp/>

第1回定例会

令和5年度一般会計・特別会計の各当初予算 中神駅北側地域整備事業運営基金条例 など32議案を可決 （一般会計予算総額491億円） 施政方針に対して代表質問を実施

令和5年第1回昭島市議会定例会は、2月28日から3月28日までの29日間を会期として開かれました。今定例会では令和5年度の施政方針・教育施策推進の基本的考え方が表明され、これに対して、4会派から代表質問が行われました。市長から提出された議案31件、議員から提出された議案1件が可決及び同意され、一般質問は3日間にわたり13人の議員が行いました。



▲笑顔とともに歩み出す春

(左上：昭和公園 右上：春の花 左下：ヒヨドリ 右下：入学式)

予算審査 特別委員会

開催日 3月9日・10日・13日

委員長 渡辺 純也

副委員長 馬場 保

委員数 20人

(正副議長を除く)

◆審査結果 各会計とも

原案可決

※予算額及び議決結果は4面に掲載



副委員長 馬場 保



委員長 渡辺純也

各会派の主な質疑 (質疑順に掲載)

自由民主党昭島市議団

質問 コミュニティバスについて、①燃料費高騰による予算の増加額は、②カー

ボンクオートーを目指す中、電気自動車にする考えは。答弁 ①約100万円となる。

②買い換え時に検討する。質問 令和5年度の一般会計予算額は491億円と過去10年で最高額となったが、引き続き厳しい財政運営が見込まれる。①個人市民税と法人市民税は増額の見込みだが、要因は。②ニーズが多様化する中、将来を見据えた財政運営を。

答弁 ①転入による納税義務者の増加やコロナ禍からの経済回復の影響を見込んでいる。②計画的な市債と基金の活用を努めながら、市民総合交流拠点施設や学校給食共同調理場などの整備をやり遂げていく。

質問 市民総合交流拠点施設整備事業について、①駐車場に停められる車の台数が、第2駐車場も含め44台から54台くらいのことだが、足りるのか。②ネーミングライツを導入すべき。

答弁 ①利用台数を想定して計画しているが、開館に向けて更に検討を進めていきたい。②地中熱や太陽光発電を取り入れた新たな施設であり、それに見合うよう検討していきたい。

質問 こども家庭庁の発足に伴う施策について、困難な状況にある子どもたちへの支援策推進の見通しは。答弁 国が今秋に公表予定のこども施策に関する大綱を踏まえ、支援策を推進する新たな体制づくりを検討していく。

質問 ごみ処理費について、清掃センター等維持管理経費が4年度より大きく増えているが、その理由は。答弁 施設修繕料が1億3千790万円増加していることが主な要因である。

質問 農業生産団体に對する補助金について、高騰する肥料代にも使用できるようにする考えは。答弁 生産団体の方と肥料代の高騰などについて話をしており、補助金の使い方を検討している。

質問 防災行政無線の役割は大きい。聞こえない地域を把握しているのか。答弁 難聴地域は把握しており4か所新設した。今後、も対策を検討していきたい。

質問 街路樹せん定等委託について、①樹木の種類や植栽場所をどのように管理しているのか。②ソメイヨシノはここ数年台風による枝の落下や幹の空洞化による倒木が起きている。せん定や伐採をどのように進めているのか。

答弁 ①街路樹は市道路線ごと、公園は公園ごとに、種類や本数を台帳により管理している。②委託先等を含め対応を検討していく。

質問 妊娠8か月面談について、①4月1日を基準として7か月の方が対象とのことだが、3月や4月に8か月となる方も対象にすべき。②妊婦だけでなく、パートナーも一緒に相談できる体制が望ましい。考えは。答弁 ①個別通知は届かないが、これまで妊娠期より、助産師等が不安な方への個別支援をしており、相談の希望があれば対応していく。

質問 3分の1は国保税で賄い、3分の2は市の一般財源からとなり、地方交付税としての措置となる。

公明党昭島市議団

質問 ふるさと納税に伴う市税の減収について、商工会等の様々な団体と連携して返礼品の充実を図るなど、昭島市へのふるさと納税を増やすことが課題と考える。今までの取り組みや今後の展開は。

答弁 市の魅力の積極的な発信に加え、新たな返礼品の発掘に取り組むなど、まちづくりに協力いただけるよう、引き続き全職員で知恵を絞り取り組んでいく。

質問 産後の育児の不安を解消するため、安心して子どもを預けるための保育所や学童クラブを充実させていかなければならないと考える。待機児童の解消に向けて、今後の見通しは。

答弁 保育所は認定こども園への移行を含め令和5年度4園開園するため、一定の解消が見込まれる。学童クラブは増設が困難なため、放課後こども教室の活用等を含め対応を検討していく。

質問 妊娠8か月面談について、①4月1日を基準として7か月の方が対象とのことだが、3月や4月に8か月となる方も対象にすべき。②妊婦だけでなく、パートナーも一緒に相談できる体制が望ましい。考えは。答弁 ①個別通知は届かないが、これまで妊娠期より、助産師等が不安な方への個別支援をしており、相談の希望があれば対応していく。

②パートナーも含め、相談を希望される方全員に対応

2面下段へ続く